

平成28年度 第7回地区懇談会(末武3～7班)の報告書

標記の件、下記の通り報告します。

記

- 1 日 時 平成29年3月1日(水) 午前10時00分～11時30分
 - 2 場 所 下松市勤労者総合福祉センター 研修室
 - 3 参加者 参加者名は、添付資料「平成28年度 第7回地区懇談会出席者名簿」の通り
地域班 17人 (班長 山根紀賢(3班) 小田親生(4班) 多田憲一(司会5班) 田鹿壮三(6班) 嘉本勲(7班))
役職員 6人 (理事長 官田敏彦 事務局長 村岡博徳 武居祥恵 三好明美 土田芳大 栗岡宗弘)
計 23人
 - 4 議 題
 - (1) 理事長挨拶
ア.地区懇談会を平成25年度より実施している、会員の減少・契約金額も減少している。会員の減少は
①定年制の延長。②定年退職者の再雇用。③年金受給が65歳以上等で、新規会員が入会しない。
④センター会員の平均年齢は72歳で、今後も高齢化傾向。
⑤会員の確保と就業確保も努力している。特に若い会員・女性会員の確保に努めたい。
イ.今後の対応として、会員の確保(「一会員一新会員紹介・入会」の努力)、就業機会の強化に取り組む。
ウ.地区懇談会の活性化と会員からの地域の情報提供をお願いしたい。
エ.平成25年度より、就業機会創出員・就業開拓推進員を配置し、会員確保、就業開拓に努めている。
 - (2) 新入会員の拡大に向けての現状と対策(総務委員からのお願い)
ア.会員の減少に伴い新規会員の入会依頼・促進についてお願いしたい。
①家族、友人に新規会員の募集で「一会員一新会員紹介・入会」の声かけ運動を依頼した。
イ.現状は会員の確保は難しい。打開策としてこの地区懇で皆さんの情報提供をお願いしたい。
 - (3) 新入会員の拡大に向けて、皆さんのアイデア・提案等の意見を聞きたい。
ア.入会説明会の①参加者と入会状況と②除草の希望者は?
①平成28年度2月迄の11ヵ月間で、参加者80人、入会者62人です。
②70歳以上は除草、69歳以下は草刈の希望が多く、2月も3人草刈希望者があった。
③草刈り・除草の就業依頼は多いが、希望する会員は少ない。逆に建物管理等は希望会員が多く
バランスがとれない。企業からの仕事も減少傾向。
イ.新しい会員を増やす具体策と手段は
①平成29年度より、新入会員紹介制度を導入し、会員の協力をお願いする。
②新しい発想、新しい考え方の提案があれば事務局へ報告して欲しい。
ウ.ハローワークへの働きかけは?
①ハローワークへ、情報を提供しシルバーへの入会依頼をお願いしている。
②ハローワークと就業形態が違う、シルバーの就業は10日/月で、配分金は全国平均約3万円/月。
③やる気(積極性があり、働く意思の有る)の人は、自分で職を探している。
エ.会員仲間が「仲良しクラブ」・「同好会」を立上げ、実績を挙げながら新入会員を募るのはどうか。
①センターの各種同好会等を説明した。
②提案の一例として、写真クラブを立上げ⇒活動し⇒展覧会をする。「遊ぶ仲間」を作ろう。
少人数のグループを作り、仲間でプランを作成し⇒実行して更に仲間を集める。
③「明るく・楽しく・元気に交流会」に参加する。
 - (4) イベント班の駐車場整理で、安全確保のためにハイウェイチョッキ(蛍光色)が必要。
①光市はハイウェイチョッキを使用中、下松市は自費のため購入していない。早急に検討する。
②はっぴがあれば、まつりや行事に使用し盛上げられる。⇒シルバーまつりは使用している。
 - (5) 建物管理に就業しているが、何歳まで就業できるのか?
自動車の運転業務は70歳、通常業務は80歳。就業の最高年齢は、女性で87歳。
 - (6) 確定申告の配分金収入等の所得税の取扱いについて
必要経費の控除は、65万円。
 - (7) ゴミ出し依頼で、前回の地区懇で希望者が2人いたが何も連絡が無い。ワンコインは?
①便利屋の担当職員に連絡する。今後確認事項や就業等は直接事務局へ相談して欲しい。
②ゴミ出し等の受注は有ると思う。昨日もゴミ出し作業の依頼が事務局から有った。
③地域と共に活動するには、まず「ゴミ出し」から始めて、新たな就業機会の確保が出来れば。
- まとめ
- (1) 会員拡大はセンター仲間の課題とし「健康で楽しい仲間づくり」を目指して挑戦しよう。
改善提案・アイデア等を最大限活用して、仲間で会員拡大し、次に進める状況を作りたい。
 - (2) イベント班の駐車場整理の安全対策でハイウェイチョッキの着用は重要。検討する。
 - (3) ゴミ出し等の仕事は今後重要と考えている。新たな就業開拓等を含めて委員会に提案する。
 - (4) いろいろご意見ありがとう。今後も全員の力で頑張りたい。

以上